

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 5 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 27 年 11 月 12 日 (2015.11.12)

【公開番号】特開 2013-79797 (P2013-79797A)  
 【公開日】平成 25 年 5 月 2 日 (2013.5.2)  
 【年通号数】公開・登録公報 2013-021  
 【出願番号】特願 2012-211615 (P2012-211615)  
 【国際特許分類】

F 2 3 R 3/42 (2006.01)

F 2 3 R 3/46 (2006.01)

F 0 2 C 7/00 (2006.01)

【F I】

F 2 3 R 3/42 A

F 2 3 R 3/46

F 0 2 C 7/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 9 月 24 日 (2015.9.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ガスタービンエンジン ( 1 0 0 ) 用の燃焼システム ( 1 0 6 ) であって、  
 内側ケーシング構造体 ( 1 2 4 ) と、  
 外側ケーシング構造体 ( 1 2 2 ) と、  
 前記内側ケーシング構造体及び前記外側ケーシング構造体間に装着されて前方領域及び  
後方領域を備える燃焼室の前方境界を少なくとも部分的に形成し、前記内側ケーシング構  
造体及び該燃焼室の前記後方領域よりも該燃焼室の前方領域により近い前記外側ケーシ  
ング構造体に結合されるようになる燃焼室フレーム ( 2 0 0 ) と、  
 を備え、  
前記燃焼室フレームが、ドーム構造体と、該ドーム構造体と一体に形成されたカウルとを  
備え、該ドーム構造体及び該カウルの前方がほぼ半径方向に延びる  
 燃焼システム ( 1 0 6 ) 。

【請求項 2】

内側ライナ ( 1 3 4 ) と、  
 外側ライナ ( 1 3 6 ) と、  
 を更に備え、前記内側及び外側ライナが、前記燃焼室フレーム ( 2 0 0 ) に結合されて、  
 前記内側及び外側ライナが燃焼室 ( 3 0 2 ) の半径方向境界を少なくとも部分的に形成す  
るようになっている、請求項 1 記載の燃焼システム ( 1 0 6 ) 。

【請求項 3】

前記燃焼室フレーム ( 2 0 0 ) が、環状燃焼室フレームである、請求項 1 記載の燃焼シ  
 ステム ( 1 0 6 ) 。

【請求項 4】

前記前記カウルが、環状内側カウル ( 2 2 2 ) と、環状外側カウル ( 2 2 6 ) とを備  
 え、  
前記ドーム構造体が前記内側カウルから前記外側カウルまで延びた環状ドーム構造体 (

2 2 4 ) を含み、

前記内側カウル、前記外側カウル、及び前記ドーム構造体が一体的に形成される、請求項 3 記載の燃焼システム ( 1 0 6 ) 。

【請求項 5】

前記燃焼室フレームが、複数の円周方向に間隔を置いて配置され前記外側カウルと一体に形成された支持体を備え、該支持体は前記燃焼室フレームを前記外側ケーシング構造体に結合させるよう構成されている、請求項 4 記載の燃焼システム ( 1 0 6 ) 。

【請求項 6】

前記ドーム構造体 ( 2 2 4 ) に結合されたディフレクタ ( 2 4 2 ) を更に備える、請求項 5 記載の燃焼システム ( 1 0 6 ) 。

【請求項 7】

内側ケーシング構造体 ( 1 2 4 ) 及び外側ケーシング構造体 ( 1 2 2 ) を有し前方領域及び後方領域を備える燃焼室の前方境界を少なくとも部分的に形成する、ガスタービンエンジン燃焼システム ( 1 0 6 ) 用の燃焼室フレーム ( 2 0 0 ) であって、

内側フレームセグメント ( 2 0 2 ) と、

外側フレームセグメント ( 2 0 4 ) と、

前記内側フレームセグメントから前記外側フレームセグメントまで延びた中間フレームセグメント ( 2 0 6 ) と、

を備え、

前記燃焼室フレームが、前記内側ケーシング構造体及び前記外側ケーシング構造体間に装着されて前方領域及び後方領域を備える燃焼室の前方境界を少なくとも部分的に形成し、前記内側フレームセグメントが前記内側ケーシング構造体に結合され且つ前記外側フレームセグメントが該燃焼室の前記後方領域よりも該燃焼室の前記前方領域により近い前記外側ケーシング構造体に結合されるように構成され、

前記中間フレームセグメント ( 2 0 6 ) が、ドーム構造体と、該ドーム構造体と一体に形成されたカウルとを備え、該ドーム構造体及び該カウルの前方がほぼ半径方向に延びる燃焼室フレーム ( 2 0 0 ) 。

【請求項 8】

前記燃焼室フレームが、内側ライナ ( 1 3 4 ) 及び外側ライナ ( 1 3 6 ) に結合されて、該内側ライナ及び外側ライナが燃焼室 ( 3 0 2 ) の半径方向境界を少なくとも部分的に形成する、請求項 7 記載の燃焼室フレーム ( 2 0 0 ) 。

【請求項 9】

前記燃焼室フレームが環状燃焼室フレームである、請求項 7 記載の燃焼室フレーム ( 2 0 0 ) 。

【請求項 10】

前記内側フレームセグメント ( 2 0 2 ) が、環状内側フランジ ( 2 0 8 ) を含む、請求項 9 記載の燃焼室フレーム ( 2 0 0 ) 。